

平成 29 年度第 3 回下水道担当職員研修

「おどげでねえ伊達な下水道場」を開催しました。

平成 29 年 9 月 26 日（火）に今年度 3 回目の下水道場を開催しました。

今回の道場では広域化・共同化や BCP について学びました。

広域化・共同化では県内で既に勉強会を開催している、吉田川流域の取組状況を説明し、参加者でディスカッションを行いました。

BCP では、9 月 1 日に BCP マニュアルが改訂され、改訂内容を説明後、作成方法や今後の進め方等を説明し、東日本大震災時の対応状況等の意見交換を行いました。

主な意見（広域化・共同化）

- マンホールポンプや管渠等の維持管理は市町村を越え、県全域で広域化できるのでないか。
- 上下水道一体で業務を行っているので、下水道だけでなく、上水道も合わせて検討を行えるのではないか。
- 農集排等特殊な施設の維持管理は広域化することでメリットがあると思う。
- 下水道への接続率向上を県内一体で行う事で情報の共有ができると思う。

主な意見（BCP）

- 東日本大震災時の他市町村の対応状況等を聞け、BCP 見直しにあたり大変参考になった。
- 他の自治体の対応状況や行えた業務・行えなかった業務を聞け有意義だった。
- 他の自治体と問題点を共有でき良かったが、問題点も多いと感じた。



広域化・共同化でのディスカッションの様子